



Subaru

ニュース№717

男声合唱団

'19. 12. 10

「U Boj!」と「見上げてごらん…」特別レッスン! 恵谷篤嗣さんを講師に迎えて!

12月6日



□ 12月6日(金) 18:00~20:30 ねむかホールにて、昂定例レッスンが開催されました。奥村さんの体操、吉岡さんの滑舌訓練、富樫さんの発声練習のあと、今日は、恵谷篤嗣(えや・あつし)先生を特別講師に迎えて「U Boj!」と「見上げてごらん夜の星を」の2曲の特別レッスンを受けました。



楽譜を見ながら、音程、リズム、pp・p・f・ffの強弱・息の出し方(声の持続)、言葉の発声、原語楽譜での言葉(単語)の母音・子音の確認等、まとまったフレーズ毎に正確に合わせて行くこと等、分かりやすく丁寧に指導いただきました。

「U Boj!」のレッスンの最後に、最初から最後まで歌い上げたときは、”別の男声合唱団ではないか!?”と思われるほど、よく声が揃い、堂々たるリズムカルな美しい男声合唱!今までの昂の「U Boj!」とは全く違った上出来の「U Boj!」 ”ブラボー!“

ピアノ伴奏・サポートは門万沙子さん。参加者は全38名でした(特別講師を含めます。)

(ご紹介) 恵谷篤嗣さんは、関西学院大学の卒業生・関学グリークラブのOB合唱団「新月会」の主要メンバー(幹事)の一人。「新月会」は120年の歴史を持つ「関学グリークラブ」のOBが合唱ステージを持ちたいと80年前に発足したという名門の男声合唱団。2018・2019年も「新

月会リサイタル「東西4大学OB合唱連盟演奏会」「上智大学グリークラブOB・新月会コンサート」等精力的な演奏活動を続けておられます。

「見上げてごらん夜の星を」の歌い方を2点変更します。

① D.S.で戻ったときは、2行目の歌詞を歌う。

② Codaの「いのってる」、T2・BRパートも、T1・BSパートと同じリズムで歌う。(指揮者より確認)

連絡・報告事項

(1)大阪のうたごえ祭典(2020年2月23日)の合同・公開練習日のお知らせ

「シヤハンバ」のレッスン日:12月15日(日) 14:00~15:30 ねむかホール

「昴」定例レッスン日です。レッスンの前半を合同レッスンに当てますので、「シヤハンバ」の楽譜を忘れずに持ってくること!

(2)「昴13回コンサート」チケット50枚ずつ/各団員1人当たり、配りました。

「取り扱い」上の注意点:右側のもぎ取り部分に「担当者」印欄があります。聴きに来ていただける方に積極的に届けてください!氏名記入欄に押印もしくは氏名を記入の上、渡してください。入金はチケットのNO.で管理してください。(チケット係大変厄介な作業ですが、担当いただく方々よろしく願います。)

(投稿) 関学OB恵谷さんの「コール・セコインデ」リサイタルを聴いて 立川孝信

先日 UB o j!のご指導をいただいた恵谷さんの所属の「コール・セコインデ」のリサイタルに行った。阪急甲東園駅から坂道を登りやっとの思いで関西学院に着いたのは2時、席に着くや否や、始まったのは57歳で先日亡くなった団員の追悼の歌だった。背景には大きく似顔絵が映されていた。

1部はシベリウスの六つの男声合唱曲、たぶんフィンランド語だと思うがすごい挑戦だと思った。そのまとめ的に歌われたのが「フィンランディア」だった。初めてフィンランド語で聞いた。平和への思いを日本語で歌ってきただけに原語ではあっさりと聞こえた。ちなみに衣装は制服のグレーのブレザーだった。

2部はサイモンとガーファンクルの曲などをカルテットや女声2人が加わって歌い、ポップでノリノリの感じでとても心地よかった。ちなみに衣装はブルーのシャツに白のネクタイだった。

3部はクリスマスのイメージで皆思い思いの服装で登場した。最後の「ホワイトクリスマス」ではステージが暗くなりペンライトが光った。心憎い演出だった。

4部は今までほとんど外国曲だったが一転して日本語、しかも北原白秋で文語調の難解な曲だった。例えば 黎明「白き鷺、空に闘ひ、はい然と雨はしるなり」という詩で6曲の組曲からできていてタイトルは「白き花鳥図」これを暗譜で歌っていた。英語曲よりも難しいのではと思った。

全てアカペラ、恵谷さんの吹く笛の音だけで一瞬に歌いだした、0.5秒位でばっちりのハーモニーだ。何といっても声がいい、心地いい、ベースがしっかり支えて厚みがすごい、研ぎ澄まされて洗練されたハーモニーだ。これが何と無料だ。我が昴は2000円だ、頑張らねば・・・

そして送り出しの出口でもたつぷりとクリスマス曲などを歌ってくれた。最後は客も一緒に「聖夜」、名前はセコインデだが「せこい」どころかサービス満点無料でおもてなしたつぷりの素晴らしいコンサートだった。

追悼!

ペシャワール会中村哲医師が死亡

昴の皆様へ

すでにニュースでご存知と思いますが、ペシャワール会の中村哲医師がアフガニスタンで死亡されました。中村医師のアフガニスタンでの活動は、皆さんすでにご承知と思います。

実は中村医師と昴は直接の出会いがありました。2012年6月9日、中之島公会堂で開かれた保険医協会50周年記念企画に昴が呼ばれ一部で昴の演奏、この時の演奏は参加者の大きな感動を呼びました。(保険医協会は私の現役時の職場でした)

二部で中村哲氏が講演、アフガニスタンでの医療支援から、貧困が争いの根底にあると井戸を掘り

日本の伝統的な農業の開発指導など第一線の現場での支援活動を話され、会場満杯の参加者が感動しました。

この公演の後公会堂のレストランで懇親会が開かれ、昴のメンバーと中村医師との交流もできました。参加者のアンケートからも多くの方が、昴の演奏と中村医師の講演に、感動と感銘を受けたという内容でした。当時演奏に参加された団員の方々は、中村医師の講演も聞かれていたので記憶がよみがえると思います。この時昴の演奏を聴いて入団されたのが、B1の川妻さんです。

中村医師の死亡は何といてもアフガニスタンの国民にとって大きなショックであると同時に、日本と世界の平和のために活動する多くの人にとって大きな損失となります。

「平和は武器ではなく人々との信頼によってしか勝ち取れない」という中村医師の信念を大切に、私たちも受け継ぎながら、うたい続けることだと思いました。中村医師に心からの哀悼の祈りを捧げます。
(T2 高田和弘)

差出人: 立川 孝信

送信日時: 2019年12月5日 木曜日 19:06

宛先: 高田和弘さんへ

昴は2012年に保険医協会50周年に出演しました。これは昴史上最大の出演依頼でした。その記念企画に昴が中村哲さんと同じ舞台を踏めたことは誇りであり素晴らしい思い出ですね。その後中村哲さんと同窓の檀さんの紹介で講演会がありDVDを買い、中村氏がアフガンに水路を作り緑をよみがえらせたことを詳しく知り、改めて彼の平和貢献を知りました。しかしその見返りが「死」とは、本当に悔しいですが彼の思いを私たちがのぞくことで受け継ぎたいですね。戦争のための基地や武器のない世界を作ること。世界中に戦争の火種を広げるアメリカその言いなりになる安倍政権を退場させること。そのために歌い続けること。頑張りましょう。立川

《合唱研究会》の第3回発表会(コンサート)のお知らせ

すぐれた編曲は、元の曲にあらたな生命を吹き込み、よみがえらせる。

私が頼めつけと思うのは、90年代後半の池辺晋一郎による「Great Journey」だ。この編曲は「アメリカン・グレース」「ディーブ・リバー」「リパブリック讃歌」の三曲からなる。「Deep River」は本場アメリカに沢山の編曲があるが、池辺編曲ほど、この曲の心にせまり、音楽的にも優れているものを私は知らない。

芥川也寸志「仲間達」の徳山美奈子による編曲は、原曲のもつ躍動感、若々しさ、暖かさを、いっそうくっきりと合唱として表現している。木下航二の「母なる故郷」を、スケールの大きい合唱曲にした高平つぐゆきの力量は、たいしたものだと思う。金井信によるガーシェインの「スワニー」「サマータイム」などは、ジャズへの深い理解がないと出来ない。彼の沢山の編曲が、うたごえ運動をどんなに豊かにしたことか。

すぐれた編曲を、うたごえだけの財産にしておくのはもったいないと、いつも思っている。

守屋博之 (うたごえ新聞「うたごえ時間」より抜粋)

《演奏予定曲》

- ・仲間達 芥川也寸志作曲・徳山美奈子編曲
- ・桑ばたけ 関忠亮作曲
- ・たたかひの中に 林光作曲・青山広志編曲
- ・母なる故郷 木下航二作曲・高平つぐゆき編曲
- ・組曲「砂川」全4曲「風に・土に・人に・火に」 芥川也寸志作曲
- ・ディーブ・リヴァー 黒人霊歌・池辺晋一郎編曲
- ・歌劇「ボギーとベス」(G.ガーシェイン作曲)より「Summertime」 金井信編曲
- ・「Bess, you is my woman now, ...」 J.シュトラウス作曲・津川圭一編曲
- ・兄弟姉妹みんなで 《お話し 石黒真知子》
- ・炎上だ！ 石黒真知子作詩・金井信作曲 (2019年度日本のうたごえ合唱団委嘱作品)
- ・歌よはばたけ 石黒真知子作詩・藤村記一郎作曲

指揮：守屋博之 ピアノ：門万沙子 アコーディオン：入江文子 ドラムス：小川悟史
ベース：藤岡靖博

※ 内容については変更させていただく場合があります。詳細は後日うたごえ新聞紙上などで改めてお知らせします。



2020 4/12 日

開演 14:00 ※ 開場 13:30
会場 大阪ドーンセンターホール
入場料 2,000円 (大阪天満橋)

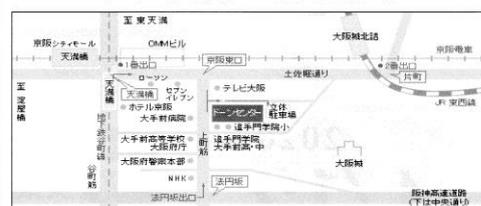
《合唱研究会》

合唱研究会は、うたごえ運動の音楽的蓄積を学び、生きた財産として継承していく場として、2014年夏、関西在住の有志の呼びかけで発足しました。月1回(第1土曜日午前中)に例会をもち、現在2府8県から37名が参加し学んでいます。2016年1月に第1回発表会「～美しき祖国のために～うたごえの誕生から歌劇沖縄まで」を、2018年3月に第2回発表会「～うたごえ誕生前後～プロレタリア音楽同盟とロシア・ソヴィエト歌曲」を開催しました。

- ★ 音楽監督/指揮：守屋博之
- ★ ピアノ：門万沙子

事務局：藤井幸枝 090-8201-8325
mkky23288@nike.eonet.ne.jp

《ドーンセンターへのアクセス》



- ◎ 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ約350m。
- ◎ 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- ◎ JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐通り沿いに西へ約550m。